

小学1年生を対象に通学路のまち歩きを実施

～宇都宮大学附属小学校 105名が通学路の安全箇所・危険箇所を点検！～

一般社団法人 日本損害保険協会関東支部栃木損保会（会長：高橋 学：東京海上日動火災保険株式会社 執行役員 栃木支店長）では、2024年7月2日（火）に宇都宮大学共同教育学部附属小学校（校長：近藤 秀人）と連携して、同校小学1年生（児童数：105名）を対象に生活科校外学習の時間を活用して、交通事故防止を目的で通学路のまち歩きを行い、安全なところ、危険なところを点検し、マップにまとめるという、安全な登下校に資する取組みを実施しました。

まち歩きに先立ち、6月24日（月）～28日（金）の週に事前学習として、クラス単位（1クラス約35名）で担任の先生のご指導のもと、学区の安全や危険箇所をあらかじめ考える実践的な授業を実施しました。

7月2日（火）は、9時50分から1年生3クラスの児童がクラスごとに時間を20分ずらして、校庭に集合して担任の先生から注意事項などの説明後、1グループ3～4名に編成し、ボランティアの保護者同行のもと通学路をバス停まで往復30分程度のまち歩きを行いました。小学生は、タブレットを持って、横断歩道や交差点、駐車場、水路など危険な場所・安全な場所を熱心に観察し、写真を撮ってタブレット上の地図で位置を確認していました。

まち歩きの後、7月5日（金）の各クラスの授業で、タブレットを活用して交通安全マップを作成しました。作成したマップは、当協会の第21回ぼうさい探検隊マップコンクールに応募予定です。

当支部では、今後も関係機関・団体等と連携し、ぼうさい探検隊等を通じた、防災教育活動の普及啓発に取り組んでまいります。

「ぼうさい探検隊」とは、子どもたちが楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめ発表する、実践的な安全教育プログラムです。 https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai_sp/pdf/application.pdf



校庭で先生からまち歩きの注意事項の説明を受ける



まち歩き（十字路を点検）



まち歩き（横断歩道を点検）